

## (仮称)伊勢原市第6次総合計画基本構想(案)及び前期基本計画(案)のパブリックコメントの結果について

伊勢原市パブリックコメント実施要綱に基づき、(仮称)伊勢原市第6次総合計画基本構想(案)及び前期基本計画(案)について、パブリックコメントを実施しました。

### 1 パブリックコメントの概要

#### (1) 実施期間

令和4年9月1日(木)から9月30日(金)まで

#### (2) 周知方法

広報いせはら9月1日号、市ホームページ、いせはらくらし安心メール、SNS(フェイスブック、ツイッター、LINE)、自治会、関係団体

#### (3) 閲覧場所

市ホームページ、市役所1階ロビー、市内公民館、市立図書館、市民活動サポートセンター、経営企画課

#### (4) 提出意見数

126件(28人)

### 2 意見の要旨及び市の考え方

【対応区分】A：ご意見を踏まえ、計画案に反映するもの(4件)

B：ご意見の趣旨が既に計画案に反映されているもの(31件)

C：今後、施策や事業の参考とするもの(19件)

D：ご意見として承ったもの(72件)

## (仮称)第6次総合計画 基本構想(案)・前期基本計画(案)への意見と対応方針について

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
1	第1章 基礎的な条件 p. 1	市政の現状と、解決すべき課題が見えにくいです。	D	市政の現状や解決すべき課題については、「第1章 基礎的な条件」において、体系的に整理しています。
2	第1章 基礎的な条件 p. 1 第2章 基本構想 p. 19	未来のビジョンもチャレンジすべき優先課題もなく、主体や手法も見えてきません。 10年後の市政の夢像は理解できますが、一方で、市政の現状が理解しにくいです。	B	未来のビジョンについては、基本構想がそれにあたる部分となります。 市政の現状や解決すべき課題等については、「第1章 基礎的な条件」及び「第2章 基本構想」において、体系的に整理しています。また、手法等となる具体的な取組については、現在、実施計画の策定作業の中で検討しています。
3	第1章 基礎的な条件 2 計画の構成と期間 p. 2	これからの10年間を見渡した時の最大の課題である「人口減少とそれに伴う財政減」に対し「何を最重点」に取り組もうとしているのか、明確な実施計画の提示を望みます。	D	第6次総合計画は、本市の持つ特性や強みを生かしながら、市民の暮らしやすさと持続性の高いまちづくりを進めていきます。 前期基本計画では、人口減少・少子高齢化に伴う課題に的確に対応するため、重点的に取り組む施策を「未来を見据えた いせはら元気創生戦略」として位置付け、戦略的にまちづくりを進めます。 実施計画には、施策を推進する具体の事業を位置づけ、工程等を明らかにしていきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
4	第1章 基礎的な条件 1 策定の趣旨 p. 2 第2章 基本構想 3 人口の将来展望 p. 2 1	10年前に策定した現行計画との違いを知りたいです。	D	本市の市政運営の基礎的要素である人口の推移が大きな違いの一つです。 10年前の現行計画の策定時は、本市の人口は増加傾向にありましたが、今回は、減少傾向にある中での計画策定となります。 人口減少社会に的確に対応した持続可能なまちづくりを推進するため、人口減少にブレーキをかけ、バランスのとれた人口構造にしていく必要があると考えています。
5	第1章 基礎的な条件 1 策定の趣旨 p. 2 第2章 基本構想 3 人口の将来展望 p. 2 1	現行計画にはない、新しい考え方や方針はあるか確認したいです。	B	10年前の現行計画の策定時は、本市の人口は増加傾向にありましたが、今回は、減少傾向にある中での計画策定となりますので、将来の人口展望を明確に掲げることとしました。 また、本格化する人口減少・少子高齢社会の進行に伴う様々な課題に対し、より長期的な視点による総合的かつ効率的に取組を推進するため、前期基本計画と、まち・ひと・しごと創生法に基づく「第2期伊勢原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体的に策定し、「未来を見据えた いせはら元気創生戦略」として位置付けます。
6	第1章 基礎的な条件 4 土地利用の現況 p. 7	県道61号の電柱地下化に伴い、街路灯の意匠を統一する等、伊勢原大山インターまでの動線にデザインの統一感を持たせることで、観光客・住民が魅力的だと感じられるまちのファザート作りを進めて欲しいです。	B	景観計画及び景観条例により、伊勢原らしい景観まちづくりを進めています。 引き続き、関連個別計画との整合を図りながら、観光客・住民が魅力的だと感じられるよう、取組を進めていきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
7	第1章 基礎的な条件 5 財政の状況 p. 8	<p>少子高齢化による税収の減少傾向を食い止めるためには、高額所得者の転入・移住を進めることと、市外の外貨を獲得できる企業誘致が必要です。そのためにも、伊勢原プロモーション活動のコンテンツの中に、高額所得者・企業に訴える伊勢原立地の優位性を具体的に解り易く発信することが必要と思われまます。</p> <p>また、同時に優位性をブラッシュアップする具体的な施策も進めて欲しいと思ひます。</p>	D	伊勢原大山インターチェンジの開設を生かした企業誘致や充実した医療環境など、本市の持つ魅力を様々な媒体を活用して戦略的かつ効果的に発信し、選ばれるまちづくりを進めます。
8	第1章 基礎的な条件 6 まちの特性・強み p. 10	<p>大山に参拝者が増えた要因に信仰のための御札と共に、大山に自生していた薬草・生薬を配合した薬を配り地方村々を周り信者を増やした歴史があると聞きます。今の時代に生薬は難しいので、イセハラスパイス（ハーブ）にリメイクして発信できれば街の魅力が今一つ増えると考えます。</p>	D	御意見として承ります。
9	第1章 基礎的な条件 6 まちの特性・強み p. 11	<p>江戸時代の大山詣でが特にクローズアップされますが、鎌倉・室町時代幕府鎌倉の西方に極楽浄土ありと伊勢原の山々に仏を配した歴史もあることから、ユートピアの地でもある立地を今の時代でもアピールしていきたいです。</p>	D	御意見として承ります。
10	第1章 基礎的な条件 6 まちの特性・強み p. 11	<p>恵まれた医療環境を他市にもアピールしていきたいです。</p>	B	医療環境に恵まれていることは本市の強みだと考えています。今後も、本市固有の強みを生かした施策を進めていきます。
11	第1章 基礎的な条件 6 まちの特性・強み p. 11	<p>伊勢原に海はありませんが、山地部、丘陵部から河川を伝って豊かな栄養を含んだ陸の恵みにより相模湾のお魚が美味しくなつて、伊勢原の多彩な産業と共に、また伊勢原に戻ってきています。継続可能な地域循環型流通も果たせる立地であることもアピールしていきたいです。</p>	D	御意見として承ります。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
12	第1章 基礎的な条件 6 まちの特性・強み p. 1 1	今後、伊勢原市はどの産業で生き残っていくべきか、教えて欲しいです。	D	田・畑や果樹、畜産、花木などの農業活動、工業団地を中心とした産業の集積、大山をはじめとする観光地など、多彩な産業が本市のにぎわいを創出しています。今後も本市のバランスのとれた多彩な産業を強みとし、様々な取組を進めていきます。
13	第1章 基礎的な条件 6 まちの特性・強み p. 1 2	伊勢原の産物を使用した”伊勢原ブランド”の産業拠点も考えて欲しいです。	D	御意見として承ります。
14	第1章 基礎的な条件 7 まちづくりの課題 p. 1 4	ロシア・ウクライナ紛争において、食糧の急激な高昇を招いています。外国由来の食糧に依存してきた今日、今一度”地産地消と健康な（未病に向かう）食生活・持続可能地域循環型流通が望まれる所です。	D	御意見として承ります。
15	第1章 基礎的な条件 7 まちづくりの課題 p. 1 4	デジタル情報利用については、地域の産業・商業分野においても前向きに利用しなければならない課題と考えます。地域内の顧客のニーズを把握する事、他市に向かって販売する手段としても、もっと有効に活用しなければならないと思います。	D	御意見として承ります。
16	第1章 基礎的な条件 7 まちづくりの課題 p. 1 5	伊勢原に隣接する日産テクニカルセンターでは、電気自動車をはじめ先進的な技術開発が進められています。カーボンニュートラル社会に向けて伊勢原市内から色々な分野で先端技術製品（化石燃料に依存しない電気自動トラックの導入など）を導入するための補助メニューなど、是非とも欲しい所です。	C	本市を拠点とする日産テクニカルセンターとは、災害連携協定を締結する等、電気自動車を活用した取組を進めています。先進技術を活用したカーボンニュートラル社会に向けた取組については、今後の社会経済動向等を踏まえながら検討していきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
17	第1章 基礎的な条件 7 まちづくりの課題 p. 15	市内南部では、海拔10mの地域が広がり、豪雨による河川の氾濫や大地震による津波の影響により、広域での被害が想定されます。伊勢原市は丘陵が多いため、他市から非難される方々の受け皿にもなることも想定されるため、他市からの被災民受け入れのためのインフラ整備等、他市と協働して進めることも必要かと思えます。	D	御意見として承ります。
18	第1章 基礎的な条件 7 まちづくりの課題 p. 16	事業の見直しやスクラップアンドビルド等、「PDCAサイクル」により業務改善を行って欲しいと思えます。	B	総合計画の適切な進行管理を行うため、「PDCAサイクル」の手法を取り入れた事業評価や業務改善を行っていきます。
19	第1章 基礎的な条件 7 まちづくりの課題 ■市民参加について p. 17	現行計画の苦勞や課題、市民の声について把握しているのか教えて欲しいです。	B	計画策定の初期段階から、現行計画に対する市民意識調査や評価を行ってきました。また、今後のまちづくりに向け、アンケート調査や市民ワークショップなどの多様な市民参加により、広く意見や提案を伺ってきました。このような取組を通じて、市民の声を把握するとともに、まちづくりの課題を整理しています。
20	第1章 基礎的な条件 7 まちづくりの課題 ■市民参加について p. 17	市民を活用しないまま、行政と議員に任せていて、持続可能な市政運営が可能と考えているか確認したいです。	B	計画策定の初期段階から、現行計画に対する市民の意識調査や第三者を活用した評価を行ってきました。また、今後のまちづくりに向け、アンケート調査や市民ワークショップなどの多様な市民参加により、広く意見や提案を伺ってきました。このような取組を通じて、市民の声を把握するとともに、まちづくりの課題を整理しています。 持続可能なまちづくりや市政運営にあたっては、市民をはじめとする多様なパートナーとの連携や協力が不可欠ですので、基本構想の「まちづくりの基本理念」においても、その考え方を明示しています。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
21	第1章 基礎的な条件 ■市民参加について p. 17	計画策定過程において、市民を入れていないため、市民の良識の範囲を超えていない計画案になっていると思います。そのため、市政の判断力・執行力が鈍り、限られた金が浪費される原因とならないか心配するとともに、行政のチェック役の議会が、パートナーとして不十分ではないかと感じています。	B	計画策定にあたっては、学識経験者や関係機関の代表者、公募市民等で構成する総合計画審議会の審議を経て、議会での審議を行っていただきます。その他にも、市内7地区ごとに行った自治会との意見交換や市民ワークショップ、パブリックコメント等による市民参加の機会を設けてきました。
22	第2章 基本構想 1 将来都市像 p. 20	将来都市像「暮らしやすさ実感都市」に賛同します。市民にとって魅力がない街であれば、転入してきても後悔します。転出したくなります。もっと市民にとって魅力的な街になって欲しいです。	B	本市の特性や強みを生かしながら、まちの魅力を高め、市民生活の質や利便性を向上させ、誰もが暮らしやすさを実感し、住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。
23	第2章 基本構想 1 将来都市像 p. 20	「暮らしやすさ」と言い切ってしまうことで、居住者向けの計画・施策という印象を与えてしまうと考えます。実際に居住する市民が主役なのはもちろんですが、他にも通勤・通学者、来訪者、滞在者など多様な関わりがあるはずです。この点、現行の「しあわせ創造都市 いせはら」は、そのような担い手も含めて皆が協力して幸せを創造するという意味もあるので、対象範囲が逆に狭まってしまっていると感じます。生き方、働き方、住まい方がどんどん多様になる中で、「内向け」のフレーズは好ましくないのではないのでしょうか。	D	安心して暮らせる地域社会の実現と、市民生活の質や利便性の向上が図られ、誰もが暮らしやすさを実感し、住み続けたいと思えるまちとなるよう、このような表記としています。 「暮らしやすさ」は、市内在住者だけでなく、本市と関わる全ての人へ、本市の魅力を発信するフレーズとして、将来像をわかりやすく、端的に掲げているものとなります。
24	第2章 基本構想 1 将来都市像 p. 20	このキャッチコピー（将来都市像）は市の広報やシティプロモーション等で前面に出す性質のもと理解しています。穿った見方をすれば、「暮らしやすいんだからぜひ住んでくださいよ！」という売り込み文句にも受け取れます。ただしそれは、実態が伴わなければ逆効果となる両刃の剣ともなります。	D	将来都市像は、シティプロモーションのキャッチコピーとは異なり、総合計画の目標年次である10年後の都市像を表すものとなります。よって、この都市像の実現に向けたまちづくりを進めていきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
25	第2章 基本構想 1 将来都市像 p. 20	やや観念的な話になってしまいますが、そもそも「暮らしやすさ」は「実感」できるのでしょうか。私は、日々の暮らしとは空気のようにただそこに存在するもので、不自由さを感じない限り、取り立てて意識しない類のものであると考えます。逆に「臭い」「煙たい」「息苦しい」といった不快感があれば、非常に強く意識してしまうものです。「暮らしやすい」とは、不満、不便、不足といったストレスを感じることなく生活が営めることであり、むしろ「実感」しないことのように思います。以上のことから、具体的な代案の提示はできませんが、再考の余地はあると考えます。	D	御意見のとおり、ストレスを感じることなく生活が営めることは、暮らしやすさの重要な要素の一つと考えます。一方で、「安心」や「利便性」なども、暮らしやすさを感じる要素でもあると考えます。暮らしやすさの感じ方は人によって様々であると考えますが、総合的なまちづくりを進め、誰もが暮らしやすさを実感できるまちを目指していきますので、御理解ください。
26	第2章 基本構想 1 将来都市像 p. 20	子育てのしやすさ、スタッフの充実、医療の充実、特色ある学校コミュニティ、地域経済（農産・畜産）大企業との連携の推進、観光資源の活用と観光ボラの育成、外国人の受け入れ、シルバー人材、子ども育成支援部、「暮らしやすさの実感」を市内外にアピールして欲しいです。	B	市民や事業者等と連携した戦略的かつ効果的なシティプロモーションを推進し、本市の様々な魅力や暮らしやすさを全国に広め、多くの人から選ばれるまちをめざします。
27	第2章 基本構想 3 人口の将来展望 p. 21	10年～30年を見越したビジョンを知りたいです。	D	社会・経済環境の変化が著しい近年の状況から、30年後を見通すことは難しい面があり、次期総合計画では、計画期間を10年間としています。 一方で、まちづくりの重要な要素である人口については、今後、本市の人口は減少傾向で推移し、令和42年には約7万4千人になると推計されています。今後の人口減少社会に的確に対応した持続可能なまちづくりを推進するため、次期総合計画の計画期間である10年間においては、人口の減少幅を可能な限り小さくしていくための施策を展開していく方針です。
28	第2章 基本構想 4 まちづくりの基本理念 p. 21	駅前の再開発のような経済成長を目指すだけでなく、市民が豊かに、安心、安全に生活できる市を目指して欲しいです。	B	まちづくりの基本理念の一つに「安全・安心な暮らしを守ります」と掲げています。この基本理念に基づき、誰もが日々の暮らしに安全・安心を実感できるまちづくりを進めていきます。



No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
29	第2章 基本構想 5 基本構想 p. 2 2	観光に力を入れるより、市民生活を魅力的にする施策を優先して取り組んで欲しいです。	D	御意見のとおり、市民生活や暮らしやすさの視点は最も重要であると認識しており、将来都市像においても、安心して暮らせる地域社会の実現と、市民生活の質や利便性の向上をめざすこととしています。 一方で、観光など、本市の持つ魅力を効果的に発信し、地域の活性化と交流人口の増加を促すことは、今後の持続可能なまちづくりにおいては重要なことであると考えます。
30	第2章 基本構想 5 基本構想 p. 2 2	基本的にこれらの順番によって政策に軽重があるものではなく、全て等しく市政運営の根本となるものであるとは理解しています。しかしながら、読み手にとってはその順序によって受ける印象がかなり違ってくるものです。どのような考えに基づいてこの並び順になったのか知りたいし、場合によっては入れ替えなども検討してよいのではないかと考えます。	D	御意見のとおり、基本政策の並んでいる順番は、その重要性の優先順位を表すものではありませんが、市民意識調査の結果等によると「安全・安心」に対する市民の重要度が高まっていることなどを踏まえ、市民への訴求を考慮し、防災・安全に関する施策を先頭に整理しています。
31	第2章 基本構想 5 基本構想 p. 2 2	「まちづくりの基本理念」から落とし込めば、確かに防災・安全分野が1番目となるのは妥当です。しかし、「いせはら元気創生戦略」とのつながりで見れば、むしろより重要度が高いのはⅢ「子育て・教育」・Ⅳ「産業・環境」・Ⅴ「都市基盤」の方かなという印象を受けます。また、5月に実施した基本構想骨子案のパブリックコメントを見ても、これらの政策に対する提言が多いです。市民目線で関心の高い項目から記述した方が、より多くの人に伝えられるのではないのでしょうか。	D	御意見として承ります。
32	第2章 基本構想 5 基本政策 p. 2 2～2 4	人口の推移、財政状況、社会環境変化への対応、課題の明確化、今後のまちづくり等、10年後を見据えた構想、政策は妥当だと考えます。	B	引き続き、10年後を見据えた持続可能な市政運営の指針となる計画づくりを進めます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
33	第2章 基本構想 6 土地利用構想 p. 25	ツインシティ構想を始めとする相模川西岸の各市の施策展開とすり合わせはできているのか明確にすべきと考えます。	B	ツインシティ構想を始めとする、近隣市と連携した取組については、関係機関で構成される協議会等において、情報共有を図りながら取り組んでいます。
34	第2章 基本構想 6 土地利用構想 p. 25	「やま」「おか」「まち」「さと」の4区分については現行から踏襲していて、分かりやすいと感じます。	B	それぞれの地域の地形条件、自然環境、歴史・風土など、地域の特性を生かした土地利用を推進していきます。
35	第2章 基本構想 6 土地利用構想 p. 25	「産業系用地のつながり」という薄い青のもやもやが、かえって地図を分かりにくくしていると感じます。	D	現行計画からの大きな変化の一つに、新東名高速道路伊勢原大山インターチェンジの開設等による広域的な交通アクセスの向上が挙げられます。 このような、広域交通ネットワークの整備効果が発揮される「産業系用地のつながり」は、今後の土地利用を推進していく上で非常に重要な要素の一つであることから、このような表記としています。
36	第2章 基本構想 6 土地利用構想 p. 25	「工業地」を青色としていますが、東部第二地区などは倉庫や配送拠点等の物流・運輸系が中心なので、工業⇔製造業という一般的なイメージからすると結びつきづらいつ感じます。（都市計画上の工業地域や工業専用地域に指定されているという理由でしょうか…）「工業・研究・流通用地」などと表記すべきではないでしょうか。	D	御意見のとおり、都市計画の取扱いに準じ、工業地域等に指定されている主要な地域を青系の色で示しています。
37	第2章 基本構想 6 土地利用構想 p. 25	「ツインシティ構想」方面の構想道路については、本文中で1か所しか触れられておらず、唐突感が否めません。図面上に盛り込むのであれば、「基本政策V-25道路」の中に位置づけるべきではないでしょうか。	D	ツインシティ構想に関連する構想道路は、神奈川県道路計画において、「将来に向けて検討が必要な道路」として位置付けられており、県道として整備する方向性が示されていますが、前期基本計画の期間である今後5年間における具体的なスケジュールは明らかになっていないため、施策には位置付けていません。 一方で、今後の10年を見据えた基本構想においては、本市を取り巻く環境変化の中で重要な要素であることから、土地利用構想参考図に記載することとしています。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
38	第3章 前期基本計画 1 前期基本計画の概要 p. 30	時代変化に柔軟に適応するため、マネジメント能力を発揮した都市運営を明示すべきと考えます。	B	前期基本計画については、位置付ける施策に対して毎年度評価・検証を実施し、効果的かつ効率的な施策の展開を図ります。また、実施計画には、施策を推進する具体の事業を位置づけ、工程等を明らかにします。また、年度毎のローリング制を導入することで、御意見のとおり時代変化に柔軟に適応する計画とします。
39	第3章 前期基本計画 1 前期基本計画の概要 p. 30	民間投資を生かす人口対策及び雇用創出（国道246号バイパスのインター整備含む）等の具体的施策展開の意欲を示すべきと考えます。	D	御意見として承ります。
40	第3章 前期基本計画 1 前期基本計画の概要 p. 30	各種施策や資源を精査し具体的施策展開する意欲を示すしっかりとした実施計画と、第三者による執行評価機関を定め、市の本気度を内外に提示す説明責任を果たすべきと考えます。	B	実施計画には、施策を推進する具体の事業を位置づけ、工程等を明らかにします。 第三者による評価については、学識経験者や公募市民等で構成する評価委員会の設置等、計画の透明性の確保と説明責任を果たす手法を検討していきます。
41	第3章 前期基本計画 2 施策の体系 p. 33	人口推計からの諸問題や懸念事項を記載するのではなく、自然減に対しては健康対策を強化することや、団地の新設や企業を誘致するインセンティブを設ける等、転入増を図るとともに転出を抑制する政策を設けることなど、具体的な政策を挙げて欲しいです。	D	基本構想では、人口問題や財政状況、社会環境変化や市民ニーズなど、まちづくりを進めるうえで、重要となる課題を整理し、基本政策として位置付けています。 また、基本計画では、まちづくりにおける課題を各分野に落とし込み、今後推進する施策を整理しています。施策を推進する具体的な取組については、策定中の実施計画の中で検討していきます。
42	第3章 前期基本計画 p. 34	冒頭で「施策の構成と見方」を示したのはよいと思いました。	B	引き続き、市民にとって分かりやすい計画づくりを進めていきます。
43	第3章 前期基本計画 基本政策 I 施策4 交通安全 p. 44	高齢者向けの啓発や免許返納の推奨、敬老パス等代替交通手段の提供（これは「30公共交通」とも関連する）なども盛り込むべきではないでしょうか。	C	今後の事業展開の参考とさせていただきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
44	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅰ 施策4 交通安全 p. 44	横断歩道に設置されている「LEDライト」は、スポットライトになっていて車側からはとても見にくい状態です。特に夜は、どうしたら横断歩道を渡りたい人を運転席から見つけやすいのかを考えた方がいいと思います。	C	今後の事業展開の参考とさせていただきます。
45	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅰ 施策4 交通安全 p. 44	愛甲石田南口安心安全センターにトイレを併設して欲しいです。	D	敷地面積に限りがあることから、成瀬安全安心ステーションに公衆トイレを併設することは困難です。駅北口の公衆トイレを利用するなど、御理解のほどよろしくお願いします。
46	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅰ 施策4 交通安全 p. 44	高齢者や学童の事故を未然に防ぐため、白線が見えづらくなっている横断歩道の定期的な補修をお願いしたいです。	D	横断歩道の補修につきましては神奈川県警察の所管となることから、各自治会等からの要望内容を伊勢原警察署に伝えるとともに、必要に応じて警察署や道路管理者と一緒に現地確認を行っています。 引き続き、伊勢原警察署への要望を行っていくとともに、伊勢原警察署と連携を図りながら、安全確保のための環境整備に努めてまいります。
47	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅱ 施策5 地域福祉 p. 48	子育てが一段落ついて社会復帰したいお母さんや、定年退職したけど気力も体力も十分なアクティブシニアなど、ボランティアにより社会と繋がりを持ちたい市民は大勢いると思います。そういった人財を活用するためには、市内のボランティア活動を一括管理する課や、ポータルサイトがあるといいと思います。 例えばボランティアポイントというものを作って、5ポイントで500円の地域商品券と交換できたりしたら、地域経済の活性化にも繋がるし、ボランティア活動がもっとフレキシブルに活発になれば、市民同士の交流も活発になり、活気のある街、災害時に共助できる街に繋がるのではないかと期待します。	C	今後の事業展開の参考とさせていただきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
48	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅱ 施策10 運動・スポーツ p. 58	子供や若者にスポーツ環境が提供されることにより、活気ある地域になると考えるため、有効な土地活用による、新たな公園やスポーツ施設の整備を希望します。	D	持続可能なスポーツ環境・施設の確保に向け、施設の集約や複合化など、配置の適正化に取り組んでいきます。
49	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策11 子育て支援 p. 62	若い人（子育て世代）が伊勢原に住みたいと思えるよう、母親の寝不足解消支援や、子どもが病気（発熱等）で保育園に預けられない時の支援等、出産直後からのサポートを充実させて欲しいです。	C	御意見を踏まえ、今後の具体的な事業の検討の参考とさせていただくとともに、必要とする行政サービスの情報が必要な市民にしっかりと届くよう、子育て支援策のさらなるPRに努めていきます。 なお、子ども病気の際の保育については「病児・病後児保育事業」により、就労する保護者を支援しています。
50	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策11 子育て支援 p. 62	人口減少を防ぐためには、子育て環境の充実が必要だと思います。	B	御意見のとおり子育て環境の支援の充実により、子育て世代が安心して子育てでき、子育て世代から選ばれるまちづくりを進めていきます。
51	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策11 子育て支援 p. 62	人口減少を低減する為、特に結婚・妊娠・出産・子育ての分野の強化を願います。	B	御意見のとおり、妊娠・出産から子育て期までの各段階に応じた切れ目のない支援の充実により、子育て世代が安心して子育てでき、子育て世代から選ばれるまちづくりを進めていきます。
52	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策14 学校教育 p. 68	主な取組の「情報教育の推進」の唐突感が否めません。（教育指導、相談・支援体制の充実及び教職員の多忙化解消に向けた取組）に対して、少なくとも真正面から答えているように思えません。タブレットやWi-Fi環境を整えるだけで推進できるものではなく、教員のスキルアップに加えてネットワークや機器管理等全般に対応できる専門の常勤職員が必要であると考えます。	C	現状の情報教育は、令和3年度からICT支援員の派遣により、教員のICTを活用した授業準備の支援やスキルアップを図っているところです。今後の事業展開の参考とさせていただきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
53	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策14 学校教育 p. 68	教職員の多忙化解消については何より人員（常勤職員）を増やすことが最重要であると考えます。	B	御意見のとおり、教職員の多忙化解消については、本市のみならず、全国的な課題であると認識しています。 現在、本市における取組のほか、国や神奈川県への制度改正に向けた働きかけなど、様々な機会を通じて、課題解決に向けた取組を進めています。
54	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策14 学校教育 p. 68	学校と連携して農業やこども科学館なども校外学習、体験学習としてぜひ活用して欲しいです。	D	御意見として承ります。
55	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策15 教育環境整備 p. 70	主な取組の「水泳授業の民間施設活用試行」の唐突感が否めません。学校プールの老朽化からつながる話だと思いますが、民間施設を活用することで維持管理コストの削減に加え、季節や天候に左右されずに実施できたりプロの水泳指導者による指導が受けられたりするメリットがある半面、委託費用、バスチャーター費用、各校での時間調整、体育としての実運動時間が少なくなるなどのデメリットもあるため、複合的に検討を進めるべきであると考えます。	D	御意見のとおり、プール施設の老朽化に伴う取組となります。人口減少、少子化時代にふさわしい教育環境の整備に向けて、当該取組を試行実施し、今後の水泳授業と施設の在り方、課題等の検証を行っていきます。御意見として承ります。
56	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策15 教育環境整備 p. 70	体育館は災害時の避難場所にもなることから、断熱化とエアコン導入を推進するべきと考えます。（関連：「1防災」「36公共施設マネジメント」）	D	御意見として承ります。
57	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策16 生涯学習 p. 72	図書館の書棚の整理はボランティアに、貸出はセルフでできるようにするなど、ボランティアとデジタル化により経費を削減して、そのかわりオンラインで予約した本を、駅でピックアップできるようなサービスの拡充（委託）や、図書館で働く方には、購入図書の設定や図書館でのイベントの主催、おススメの本の相談など、人にしかできないサービスを強化して欲しいです。	D	御意見として承ります。



No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
58	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅲ 施策17 歴史文化 p. 74	江戸時代には、大山詣として活気あった伊勢原。市内には文化財がたくさん保存されています。ただ、市民でさえ伊勢原の歴史を知らない人がたくさんいます。 もっと市民が誇りを持ち学習できるよう、また、他県、他市からの人の目にもつくよう、駅近くに、何か設備があれば良いと思います。	C	今後の事業展開の参考とさせていただきます。
59	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策18 商工業 p. 78	店舗数の減少傾向は、小売業においては、ネットショッピングの影響が大きく、飲食業においては新型コロナによる影響が大きいと思います。ここに書かれている現状は10年前から言われている事です。  <修正前> 商店経営者の高齢化や、店舗の老朽化、大型商業施設の参入などによる、廃業の増加により商店街における店舗数は減少傾向にあり、商店街活動の衰退や中心市街地における回遊性の低下が懸念されます。	A	店舗数の減少原因については、統計調査等においても高齢化、老朽化等が以前高い割合を占めています。しかしながら、いただいた御意見のとおり、ネットショッピングや新型コロナウイルス感染症が更なる影響を与えていることも事実です。 御意見を踏まえ、「■現状」を次のとおり修正します。  <修正後> 商店経営者の高齢化や、店舗の老朽化、大型商業施設の参入に加え、近年のネットショッピングの浸透や、新型コロナウイルス感染症の影響により、商店街における店舗数は減少傾向にあり、商店街活動の衰退や中心市街地における回遊性の低下が懸念されます。
60	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策18 商工業 p. 78	(No.49, 50一括回答) めざす姿において「高齢者、女性、外国人、障がい者などが」と具体的に列挙しているが、直接的すぎると感じます。例えば「年齢、性別、国籍、障がいの有無や程度に関わらず」などの表現に改めた方がよいと考えます。	A	(No.49, 50一括回答) 御意見を踏まえ、「■めざす姿」を次のとおり修正します。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
61	第3章 前期基本計画 基本政策IV 施策18 商工業 p. 78	(No.49, 50一括回答) 商業と工業では抱える問題が大きく異なります。「産業の担い手が確保されれば、商店街が活性化していく」とは考えづらいです。目指す姿は商業と工業で分け、分かり易くすべきと考えます。	A	(No.49, 50一括回答) 御意見を踏まえるとともに、めざす姿の手段となるような記述を整理し、「■めざす姿」を次のとおり修正します。
		(No.49, 50一括回答) <修正前> ●産業の担い手が確保され、設備更新や販路拡大が進み、地域の産業や商店街が活性化しています。また、高齢者、女性、外国人、障がい者などが、希望する仕事に就き、個性や能力を発揮しています。		(No.49, 50一括回答) <修正後> ●中小企業等が安定した経営基盤のもと持続的に成長し、商店街が多くの買い物客で賑わうなど、地域の産業が活性化しています。 ●性別、国籍、障がいの有無、年齢等に関わらず、多様な人々が希望する仕事に就き、生き生きと働いています。
62	第3章 前期基本計画 基本政策IV 施策18 商工業 p. 78	第5次総合計画のもと実施された商業振興計画では、観光客をターゲットにした事業が多く行われたため、ぜひ、その時の成果や反省を（仮称）第6次総合計画にも生かして欲しいです。	C	御意見を踏まえ、具体的な事業や取組を検討していきます。
63	第3章 前期基本計画 基本政策IV 施策18 商工業 p. 78	課題の「市の主要産業である製造業」という記述が全くピンと来ません。（確かに数字上ではそうなのかもしれないが…）市内でどのような製品が作られ、いくら売り上げているのかが市民に浸透できていないと思います。指標の「商工業ににぎわいを感じる市民の割合」にもつながるので、もっとアピールすべきであると感じます。	C	今後の事業展開の参考とさせていただきます。



No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
64	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策18 商工業 p. 78	地域の活性化、明るい商店街づくり 活性化は立派なインフラやポスター等ではなく、そこに住む 住民の気持ちがあるかが本質である。 生き物は灯に集まる心理を大切に、シャッター通りを避ける 商店街づくりを望みます。	C	今後の事業展開の参考とさせていただきます。
65	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策18 商工業 p. 78	施策体系の中に、雇用創出の記載が少ないです。伊勢原大 山ICの立地条件と病院のインフラを活用したメディカル系研 究所や医薬系企業の誘致促進をお願いします。	D	伊勢原大山インター土地区画整理事業は、土地区画整理組 合を中心に現在進められています。 当該地域は、産業系の土地利用が想定されているため、製 造業などの企業誘致に取り組んでいるところです。
66	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策18 商工業 p. 78	市内に勤める人が増えれば、市内で結婚する人が増えるた め、市内への企業誘致に力を入れて欲しいです。	B	東部第二地区の順次操業開始や伊勢原大山インター土地区 画整理事業の進捗など、現在、雇用の創出や新たな企業誘致 のチャンスを迎えていると認識しています。引き続き、新た な雇用を創出する市内への企業誘致の取り組みを進めていき ます。
67	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策19 観光 p. 80	日本遺産ブランドのブランド力の強化、向上させるような 商品開発は、商工業の活性化につながると思います。	C	今後も宿坊と連携した「大山詣り」に沿った現代活用や新 たな商品開発を進めて参ります。
68	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策19 観光 p. 80	商工業の課題にあった中心市街地における回遊性の低下に ついては、コロナ禍において、「マイクロツーリズム」とい う言葉が浸透した中で、観光と商業を融合させ、近隣住民に 対し、中心市街地の商店街への誘客に取り組むべきではない かと思う。	C	コロナ禍においては、マイクロツーリズムによる地域経済 の活性化の策として、クーポン券の配布やキャッシュレス決 済のポイント還元を行って参りました。この計画では、アフ ターコロナによる観光需要の変化を注視しつつ、引き続き観 光客の市域内での消費による地域経済の活性化を図るため、 商業、観光等の分野横断的な取組を検討していきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
69	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策19 観光 p. 80	<p>コロナ禍以前から既に国内外から多くの観光客が訪れ、賑わっていたと感じるため、数年前に達成されていたような姿ではなく、より高い目標を目指すべきと考えます。</p> <p>&lt;修正前&gt; ●地域や関係機関などと連携した観光振興により、国内外から多くの観光客が訪れ、賑わっています。</p>	A	<p>当該めざす姿については、受入体制や宣伝効果の結果、現状より多くの観光客が訪れることで、市域が賑わっている様子を表しています。 御意見を踏まえ、「■めざす姿」を次のとおり修正します。</p> <p>&lt;修正後&gt; ●地域や関係機関などと連携した誘客施策の推進や受入体制の整備により、国内外から多くの観光客が訪れ、賑わっています。</p>
70	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策19 観光 p. 80	<p>「平成大山講」プロジェクトや「日本遺産」の認定はコロナ禍以前に始めたプロジェクトです。その時に定めた目標を改めて確認し、決して計画や目標が後戻りすることのないよう取り組んで欲しいです。</p>	C	<p>御意見を踏まえ、平成大山講や日本遺産事業を通じた地域の活性化に寄与する事業を進めていきます。</p>
71	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策19 観光 p. 80	<p>課題で「新たな駐車スペースをはじめとする受入態勢を整備」とかなり踏み込んだ書きぶりになっていますが、「21地球・生活環境」との整合性を考えると、狭隘な大山地区周辺に新たに駐車スペースを造成し、自家用車の利便性を高める施策はいかがなものでしょうか。むしろ、バス転換やパークアンドライド、大山地区全体の駐車場管理システム導入など「30公共交通」「23新たな土地利用」「24都市整備」等の項目も踏まえながら総合的に検討すべきであると考えます。なお、私見であるが大山駅バス停より先は地域住民と送迎車以外の一般車両は原則通行止めとし、駐車マスを事前に確保した車両のみ上げられるような仕組みを整えるのが望ましいと考えます。</p>	D	<p>受入体制の整備の具体的な場所や方法については、今後実施計画の策定作業の中で検討していきます。御意見として承ります。</p>

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
72	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策19 観光 p. 80	観光立国 観光客に優しいまちづくり、地域住民のおもてなし、お接待 意識づくり	D	御意見として承ります。
73	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策19 観光 p. 80	大山への来訪者は多くなっています。夏など、さっぱり汗 を流して帰れるよう、大山の麓のあたりにそのような施設が あったらいいなと思います。 一番は、鶴巻温泉駅のように、駅の近くに欲しいのですが、 それで温泉に入り、食事し、お土産を買い、・・・市にはお 金が入ると思います。	C	今後の事業展開の参考とさせていただきます。
74	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策19 観光 p. 80	インバウンド需要を見込み、日向薬師に大型バスが止めら れる大型駐車場を作って欲しいです。	D	アフターコロナを見据え、日向地区における観光客の受入 態勢の検討を行っていきます。
75	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策20 農林業 p. 82	畑や田んぼは放置が増えてきています。 クラウドファンディングの活用でそれらを生かすことはでき ないのでしょうか。	C	荒廃農地の原因となる農業者の高齢化や後継者不足、有害 鳥獣被害等への対応と農林業の維持・継続を課題として認識 しています。 こうしたことから、農業の担い手不足を軽減・解消を図る ため、多様な主体が様々な形で農業に関わりを持っていただ けるよう、可能性を模索していきたいと考えています。
76	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策20 農林業 p. 82	伊勢原市の高齢化が進み、あちこちに放置田畑がめだつよ うになりました。世界的な問題になり出した農作物。 もう一度みなで考えて、田や畑を田や畑として使えるように したいです。	C	荒廃農地の原因となる農業者の高齢化や後継者不足、有害 鳥獣被害等への対応と農林業の維持・継続を課題として認識 しています。 こうしたことから、農業の担い手不足を軽減・解消を図る ため、多様な主体が様々な形で農業に関わりを持っていただ けるよう、可能性を模索していきたいと考えています。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
77	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅳ 施策2 1 地球・生活環境 p. 8 4	再エネ推進とありますが、太陽光パネルの被害（熱海の土砂崩れ、台風破損、火災、廃棄問題）が増えてますのでこちらの推進はやめて欲しいです。	D	いただいた御意見のような課題等に留意しながら、再生エネルギーの推進等カーボンニュートラルに向けた取組を進めていきます。
78	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅴ 施策2 3 新たな土地利用 p. 9 0	公共施設は、“縮充”の方向は賛同しますが、それにはセットでモビリティの確保、学校や既存施設との連携が必要だと思います。	B	今後の人口減少を見据えた公共施設等総合管理計画や、集約型都市構造を掲げる立地適正化計画、さらには現在策定作業を進めている伊勢原市地域公共交通計画などの個別計画との整合を図りながら、持続性の高いまちづくりを進めていきます。
79	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅴ 施策2 3 新たな土地利用 p. 9 0	成果指標「工業用宅地」は工業用地でよいのではないのでしょうか。そもそも工業用地の面積が成果指標として本当に適切なのかも疑問です。	D	法令により定義されている用語となります。 また、将来にわたり持続的に発展する集約型都市づくりや都市の更なる成長に向け、適切な成果指標であると考えます。
80	第3章 前期基本計画 基本政策Ⅴ 施策2 3 新たな土地利用 p. 9 0	後継者不足もあり、農地が活用されていないため、市街化調整区域の弾力的な運用（自然豊かな村的な住宅地の創設、誘致）をお願いします。	D	今後の新たな土地利用については、豊かな自然環境と調和した将来にわたり持続的に発展する集約型都市づくりを目指していきます。 市街化調整区域の弾力的な運用については、御意見として承ります。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
81	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策24 都市整備 p. 92	<p>施策の内容に、「利便性が高く、賑わいと魅力ある中心市街地を形成するため、伊勢原駅北口地区における再開発事業を推進します」とあります。しかしながら、「めざす姿」や「想定される主な取組」は開発事業の部分にしか触れておらず、「賑わいと魅力ある」といった人が作り出す活力をどのように作り出していくのかが、書かれていません。道路や建築物を作れば賑わいと魅力ある駅北口になるとは思いません。伊勢原駅北口は大山や日向など観光客の玄関口でもあります。「賑わいと魅力ある」という施策内容なのであれば、商業者や観光事業者、またその専門家などからの意見を取り組んだ開発にして欲しいです。</p>	B	<p>伊勢原駅北口周辺のまちづくりについては、令和3年に関係権利者で構成される再開発準備組合が設立されており、今後も地権者等の連携を図りながら、事業化に向けた取組を進めていく予定です。</p> <p>なお、めざす姿や想定される主な取組については、前期基本計画の5年間について記載しているものです。</p> <p>また、基本計画では、分野別に施策を並べていますが、御意見のとおり、観光施策等の他分野と連携したまちづくりを進め、本市の魅力を高めていきます。</p>
82	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策24 都市整備 p. 92	<p>駅北口のみならず、駅南口についても考える時期ではないかと思えます。南口バスロータリーに隣接したビルや商業施設は、老朽化が進んでいるものもあります。建て替えの時期に合わせ、バスロータリーを含めた道路が現状のままで良いのか、電車やバスの利用者、買い物客等の利便性を検討すべきと考えます。</p>	D	<p>伊勢原駅周辺は、駅南口を含め本市の中心拠点であると認識しています。</p> <p>まちづくりの基本となる立地適正化計画や、現在策定を進めている地域公共交通計画などの個別計画との整合を図りながら、持続性の高いまちづくりを進めていきます。</p>
83	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策24 都市整備 p. 92	<p>伊勢原駅北口地区再開発事業については、市が積極的にイニシアチブをとり推進するとともに、まちの玄関口であることから単に地権者等だけでなく広く市民が場づくりに参画できるような仕組みを整えるべきであると考えます。個別計画に盛り込まれている事項かもしれませんが、基本計画にも明示すべきと考えます。</p>	D	<p>伊勢原駅北口周辺のまちづくりについては、令和3年に関係権利者で構成される再開発準備組合が設立されており、今後も地権者等の連携を図りながら、事業化に向けた取組を進めていく予定です。</p> <p>基本計画においては、課題やめざす姿等を記載するとともに、施策を推進する具体の事業を位置づけています。</p> <p>なお、具体的な工程等については、今後、実施計画で示していくこととなります。</p>

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
84	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策2.4 都市整備 p. 9.2	再開発事業についての情報を市が責任をもって集約し、市民等に向けて発信することが不可欠であり、これらの役割について位置づけるべきと考えます。	D	伊勢原駅北口周辺のまちづくりについては、令和3年に関係権利者で構成される再開発準備組合が設立されております。今後も地権者等の連携を図りながら、事業化に向けた取組を進めていく予定です。 なお、再開発事業の経過等については、市ホームページにおいて随時掲載しています。
85	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策2.4 都市整備 p. 9.2	ないとは思いますが円安により外資の土地購入等も増えておりますので、誘致する企業は治安のよい企業をお願いします。（北海道京都は土地を買われて買い戻せない等がある為）	D	御意見として承ります。
86	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策2.4 都市整備 p. 9.2	住みやすい場所にするには市の税収です。それを得るために「空前の山ブーム」を利用できませんか。「石倉」交差点のあたりに「温泉」「軽食」「農産物の道の駅」のようなものを作る。温泉は「ニュー天野屋」から。雇用は大山地区を中心。さらに大山ライブカメラの設置。ホームページから見られるようにすることで、ホームページを見もらえるようにする。「石倉」だと、車の人もバスの人も利用できると思います。	D	道の駅などの設置計画等はありませんが、東名高速道路等の広域交通ネットワークの優位性を生かした持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。 御意見として承ります。
87	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策2.5 道路 p. 9.4	田中笠窪線については、都市計画決定から50年余りが経過しているにもかかわらず未だに完成する気配がありません。当然現行計画にも記載がありますが、なおも同様の言句を繰り返すのは恥ずかしくないのでしょうか。とりあえず鈴川に橋を架け、串橋以西はほぼ平行する現道に接続するだけでも、市内西部の混雑が大きく緩和されると思います。	D	都市計画道路田中笠窪線は、現在、武道館入口交差点から行政センター地区付近における整備を推進しています。 御意見いただきました、串橋以西の整備については、今後の社会情勢の変化や他の都市計画道路との優先順位付け等を勘案しながら、整備に向けて検討していきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
88	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策2.5 道路 p. 94	前述の土地利用構想参考図に描かれている「ツインシティ構想」方面の構想道路について、整合性を持たせるためにも本項目で明記すべきだと考えます。	D	ツインシティ構想に関連する構想道路の実現は、前期計画案の期間である今後5年間には実現性がないため、施策には位置付けていません。 一方で、今後の10年を見据えた基本構想においては、本市を取り巻く環境変化の中で重要な要素であることから、土地利用構想参考図に記載することとしています。
89	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策2.5 道路 p. 94	日向薬師や登山コースへアクセスする道路について、バス同士がすれ違いできるように計画の中に道路の幅幅を入れて欲しいです。	D	日向薬師周辺の道路幅幅については、現在に至るまで長年検討を行ってきていますが、様々な課題があるため現状では具体的な計画はありません。御意見として承ります。 なお、アフターコロナを見据え、日向地区における観光施策の検討していきます。
90	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策2.5 道路 p. 94	交通アクセスの優位性とは都心から近いということですか。インターを降りてからの道路も整備すべきと考えます。	D	伊勢原大山インターチェンジの開設をはじめ、今後予定される新東名高速道路の全線開通や、圏央道を含めた交通アクセスの向上により、首都圏への時間短縮に加え、北関東方面や関西圏への利便性が飛躍的に向上するものと捉えています。 そのため、神奈川県と連携し、都市計画道路西富岡石倉線や県道611号（大山板戸）などの周辺道路整備の促進に取り組んでいます。
91	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策2.5 道路 p. 94	クリーンな伊勢原を創造する為、公園愛護会の道路版を創設したいです。	D	御意見として承ります。 現在、市民との協働により植栽隊の管理などを行っているところもあります。引き続き、道路空間の適切な維持管理に努めます。



No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
92	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策27 河川・下水道 p. 98	最近、災害が多く渋田川の氾濫も度々アナウンスされますのでインフラ整備も期待しています。	D	御意見のとおり、昨今の大雨等による河川の溢水被害等、自然災害は頻発・激甚化しています。 御意見でいただいた二級河川渋田川については、河川管理者である神奈川県に対し、インフラ整備を含む治水対策を要望するなど、安全・安心な暮らしを守るための取組を進めています。
93	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策27 河川・下水道 p. 98	河川・下水道の整備をお願いします。	B	市内の河川・下水道については、引き続き、優先順位を付けながら計画的な整備に取り組んでいきます。
94	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策28 住宅 p. 100	空き家対策の推進に向けた取組について、そもそもの前提である市内の空き家の実態把握がどこまでできているか、本計画案からは読み取れません。「特定空き家の指定はありません」とのことだが、それに相当する課題を抱える空き家が本当に全くないとは考えにくく、実態把握が不十分ではないかとの疑念が拭えません。実態把握を取組の中にしっかりと位置づけるべきと考えます。	D	御意見として承ります。
95	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策30 公共交通 p. 104	「30公共交通」については、「24都市整備」「25道路」と密接に関係することから、これら二つの間に位置づけた方が同じ文脈で把握がしやすいと考えます。	D	御意見として承ります。
96	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策30 公共交通 p. 104	現状の「比較的恵まれた公共交通ネットワークを形成しています」という認識が、そもそも甘いと言わざるを得ません。恵まれているのは駅を中心に形成される市街地が比較的コンパクトにまとまっていることや程よい駅間距離などの地理的要因によるもので、ルート設定や運行密度、定時性、混雑度などの条件が本当に良いかどうかは、慎重に検討する必要があります。	D	現在策定を進めている地域公共交通計画との整合を図りながら、公共交通環境の更なる改善に向けて、取組を検討していきます。



No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
97	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策30 公共交通 p. 104	成果指標として「ノンステップバスの導入率」は不適切だと考えます。車両導入に市がどこまで関与するのか、何%または何万円まで助成するのかなどの具体的なアクションがあるならばともかく、基本的に事業者任せであるならば市の計画としての指標にはなりませんし、そもそも「快適で利用しやすい公共交通ネットワークの形成」に対する答えになっていません。（強いて言うなら、それは快適で利用しやすい「車両」である）	D	国の移動等円滑化の促進に関する基本方針を踏まえた交通事業者と連携した取組の一つとして、小さな子供から高齢者、障がい者などにやさしいノンストップバスの導入を市として支援することで、施策がめざす「誰もが安全で快適に移動することができる」環境を整備していきます。
98	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策30 公共交通 p. 104	「公共交通ネットワークの形成」と銘打つからには、パーソントリップ調査等に基づいたより正確な人流の把握と、移動需要に対応した目的地・経路地等のルート設定および検証が不可欠です。「4交通安全」「21地球・生活環境」「3高齢者福祉」「4障がい者福祉」「11子育て支援」などの領域と相互に関連付けながら地域の移動需要を把握し、ふさわしいモビリティの在り方について検討を進めるべきです。	D	公共交通の今後の在り方等については、市の附属機関である地域公共交通協議会での議論や、現在策定を進めている地域公共交通計画との整合を図りながら検討していきます。
99	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策30 公共交通 p. 104	現状の伊勢原駅の交通結節点機能は、北口は路線バスの動線が極めて悪く、南口は狭く拡張性が全くないため、いずれも非常に脆弱であり、本来必要とされる発着枠を確保できていないと考えます。「24都市整備」と関連付けながら整備する必要がある。	B	伊勢原駅は、鉄道、バス、タクシー等の交通結節点としての機能があります。 御意見のとおり、伊勢原駅北口の再開発事業等と整合を図りながら、取組を進めていきます。
100	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策30 公共交通 p. 104	主に市民の生活動線としての公共交通という視点に終始していますが、現状最も顕著な問題は大山への来訪客が多数乗車する「伊10」系統大山ケーブル行きの混雑や積み残しであり、この問題をいかに解消するかという部分に一切触れないのは、施策として全く不十分です。また、成果指標として「快適で利用しやすい公共交通ネットワークが形成されていると思う市民の割合」では不十分であり、来訪者にもアンケート調査を実施すべきと考えます。	D	公共交通の今後の在り方等については、市の附属機関である地域公共交通協議会での議論や、現在策定を進めている地域公共交通計画との整合を図りながら検討していきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
101	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策30 公共交通 p. 104	市外ですが、西隣の鶴巻温泉駅は比々多地区の住民にとっては直近かつ重要な交通結節点である。秦野市と連携し、伊勢原駅、愛甲石田駅に次ぐ第3のターミナルとして位置付けるべきと考えます。	D	御意見のとおり、秦野市に位置する鶴巻温泉駅は、比々多地区の市民にとって、利用頻度の高い駅であると認識しています。本市における重要な交通結節点の一つとして認識しています。
102	第3章 前期基本計画 基本政策VI 施策34 広報・シティプロモーション p. 114	市のサービス/イベントが市民に広く知られていない、といった広報の課題がよく挙がっているため、市民ホールのイベントの告知や、図書館の新刊案内については、駅構内もしくは周辺にデジタルサイネージを設置して案内するなど、市民に向けたイベントやサービス等の情報周知徹底に取り組んで欲しいです。	C	市民ニーズに対応した情報発信の充実を図るため、SNSやくらし安心メールをはじめ、様々な媒体を活用した積極的かつ効果的な情報発信を進めていきます。
103	第3章 前期基本計画 基本政策VI 施策36 公共施設マネジメント p. 118	人口減少の推計をもとにした選択と集中による公共サービスの撤退等、子どもたちが大人になった時に負担とならない環境を整えるべきと考えます。	B	将来の人口や財政の見通しなどを基に、限られた行政資源を戦略的に活用しながら、人口減少時代に対応した行財政運営に取り組んでいきます。
104	第3章 前期基本計画 基本政策VI 施策36 公共施設マネジメント p. 118	子ども科学館の展示内容を維持するよりも、幼児が雨の日に遊べる室内遊技場に改装したり、愛甲石田駅よりの保育施設の充実に予算を割いた方がいいのではないかと感じました。	D	子ども科学館や保育園などを含む公共施設の今後の在り方等については、現在改訂作業を進めている公共施設等総合管理計画や、(仮称)公共施設再配置プランの策定を進める中で明らかにしていくこととしています。
105	第3章 前期基本計画 基本政策VI 施策36 公共施設マネジメント p. 118	公共施設のリストラ策だけが目立ち、市民にとっては何のために選択と集中するのか明らかにするべきと考えます。	D	公共施設の今後の在り方等については、現在改訂作業を進めている公共施設等総合管理計画や、(仮称)公共施設再配置プランの策定を進める中で明らかにしていくこととしています。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
106	第3章 前期基本計画 基本政策V 施策36 公共施設マネジメント p. 118	山積する課題に対して想定される主な取組が少なすぎる上、「(仮称)公共施設再配置プラン」など題目ばかりで具体的な施策が見えにくく、市民としては非常に不安です。個別具体的内容については下位の計画に譲るとしても、もう少し具体的な情報を盛り込むべきと考えます。	D	公共施設の今後の在り方等については、現在改訂作業を進めている公共施設等総合管理計画や、(仮称)公共施設再配置プランの策定を進める中で明らかにしていくこととしています。
107	第3章 前期基本計画 基本政策VI 施策36 公共施設マネジメント p. 118	「まちづくりの課題」として「公共施設の縮充」とありますが当市の公共施設は文化会館と地域単位の公共施設等が文化活動の拠点となっています。 また、大きなイベントや発表、展示会等は専ら中央公民館が利用されています。 しかし、現在の展示スペースもさることながら設営のための機材や組み立てパネルの劣化等で美術、芸術作品の展示への影響や設営作業の労力等、時代的なものを感じます。 他市と比べる訳でもありませんが、近隣市では美術館や文化会館に広い展示場が設けられています。 当市には当市の事情もあると思いますが、文化都市伊勢原として相応しい発表、展示場の充実を今後の計画の参考にして頂ければと思います。	B	公民館や市民文化会館などを含む公共施設の今後の在り方や適正配置の取組については、現在改訂作業を進めている公共施設等総合管理計画や、(仮称)公共施設再配置プランの策定を進める中で明らかにしていくこととしていますので、それらの個別計画と整合を図った総合計画としていきます。
108	第3章 前期基本計画 基本政策VI 施策36 公共施設マネジメント p. 118	市民文化会館に対する意見、要望です。 ・大ホール舞台の床が傷ついているため、木のささくれで危険です。又、汚れています。 ・所作台が老朽化しているので、音も響かないし、良くないので、新しくして頂きたいです。 ・お客様の要望で、トイレの和式が多いため、洋式に替えてください、という声が多いです。	D	御意見として承ります。 なお、御指摘いただいた箇所については、施設管理者に現状を確認するよう指示し、計画的な維持管理が図られるよう努めます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
109	第3章 前期基本計画 基本政策VI 施策37 ICTの利活用 p. 120	今、どんなボランティアを募集しているのか、リアルタイムで検索、申込できるサイトがあればボランティア活動はもっとフレキシブルに活発になるのではないかと思います。また、交通手段の確保も、アプリで予約できると利便性や経済性が向上するので、デジタル化は必要と考えます。	D	個別具体的ご提案については、御意見として承ります。 なお、ICTの利活用については、現在策定を進めているICT推進計画などの個別計画と整合を図りながら取組を進めていきます。
110	第3章 前期基本計画 未来を見据えた いせはら 元気創生戦略 p. 122	まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する今後の見通しを教えてください。	B	前期基本計画に位置付ける「いせはら元気創生戦略」を人口減少や地域経済縮小の課題に対応する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置付け、総合計画と一体的に総合的かつ効率的に取組を推進します。 また、事業の推進にあたっては、地方創生関係交付金及び企業版ふるさと納税等の活用を推進するなど、地方創生の取組を進めていきます。
111	第3章 前期基本計画 未来を見据えた いせはら 元気創生戦略 p. 122	第6次総合計画は素晴らしい内容ですが、第5次総合計画の実施状況評価(plan do check action)について市民に開示いただければありがたいです。 日本の最大の課題は人口減少の歯止め。中国やロシアのような社会は受け入れられませんが、民主主義社会の弱点もあります。少子化はその弱点の結果です。 基本目標3の内容を基本目標1にしてください。	D	第5次総合計画の前期基本計画及び後期基本計画の評価、並びに具体的な事業を位置付ける実施計画の評価については、市のホームページで公表していますので、御確認ください。 人口減少・少子化対策は、まちづくりにおける重要な課題として捉えていますので、適切に対応していきます。 基本目標の順番は、優先順位を意味したのではなく、国・県の総合戦略における基本目標の並び順を勘案して設定しています。
112	その他の意見	スマートシティ法案を伊勢原市に適応をしないで欲しいです。	D	御意見として承ります。
113	その他の意見	学校給食に関しては、有機無農薬給食を進めて欲しいです。	D	御意見として承ります。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
114	その他の意見	<p>市政全域を包括する計画案としてバランスよくまとまっている一方で、次の観点が抜けていると感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 21世紀の世界と日本でおきている激変と多様な宿題への対策</li> <li>・ 国の金融・財政策などに巻き込まれた下請け自治体の苦勞</li> <li>・ 市政最大の宿題、生き残り計画の集中・選択の進行具合</li> <li>・ 計画の策定過程で受けた市民のはっきりとした意見と声</li> <li>・ 行政と市民及び議員がやるべきだがやれていない宿題</li> <li>・ 市の経営において責任上避けられない役割と仕事</li> </ul>	D	御意見として承ります。
115	その他の意見	<p>次の内容を計画案の補強策として提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他市の抜け道探しの取り組み例</li> <li>・ 美味しい店の紹介</li> <li>・ 面白い授業・評判に良い授業の評価</li> <li>・ 学校の校則の生徒による採点</li> <li>・ 課題別・分野別計会議の研究</li> <li>・ 若者と市民の知的学習環境の整備と進化</li> <li>・ 楽しく元気の出る発想貯金箱 など</li> </ul>	D	御意見として承ります。
116	その他の意見	<p>計画案等について、責任者が市民の前で説明・対話する機会を要望します。</p>	B	<p>計画策定にあたっては、市内7地区において、市長から自治会の代表者への説明とともに、意見交換できる機会を設けました。</p> <p>また、令和4年9月1日から30日までに実施した次期総合計画基本構想案及び前期基本計画案のパブリックコメント期間中において、市政出前ミーティングを募集するなど、コロナ禍においても積極的に市民参加の機会を設けてきました。</p>

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
117	その他の意見	市民の声を反映させる意見交換会を要望します。	B	計画策定にあたっては、学識経験者、市内の公共団体等からの選出者及び公募市民等で組織する総合計画審議会の審議を経るとともに、議会における審議や、市政現況説明会における自治会との意見交換会、市民ワークショップやパブリックコメント等による市民参加の機会を設けてきました。
118	その他の意見	優秀な人材を活用できず、使い捨てになっていないか。職員の育成方針はあるのか、確認したいです。	D	人口減少や少子高齢社会の進展に伴う地域の活力低下が懸念される中、限られた人員で急速に変化する社会状況や複雑多様化する市民ニーズに的確かつ迅速に対応するには、職員一人ひとりの能力・意欲の向上が不可欠となっています。職員研修計画などの個別計画との整合を図りながら、人材育成基本方針に掲げる「めざす職員像」の実現に向けた取組を進めていきます。
119	その他の意見	農協の動向等から、他市との吸収合併について心配になることがあります。	D	現在、近隣自治体との合併は検討していません。
120	その他の意見	計画案の企画者、案の作成責任者、推進責任者は誰ですか。	D	計画案は市長が作成します。策定業務の責任者はは庁内策定委員会の委員長である副市長となり、事務局である企画部経営企画課が策定作業の所管課となります。 また、推進責任者は市長であります。各施策は当該分野の所管部長を責任者として推進していきます。
121	その他の意見	「まちづくりの基本理念」の4項目、「基本政策」の6分野37項目、「いせはら元気創生戦略」に掲げた4つの基本目標との関連が分かりにくいです。	C	「いせはら元気創生戦略」は、人口減少・少子高齢化に伴う課題に的確に対応するため、重点的に取り組む施策を分野横断的に整理したものです。 御意見を踏まえ、分かりやすい計画となるよう検討していきます。

No.	該当項目	意見等の内容（要旨）	区分	対応方針
122	その他の意見	基本政策37項目の縦書きが、非常に読みづらいです。 (特に3行になっている項目)	C	御意見として承ります。 引き続き、分かりやすい計画となるよう検討していきます。
123	その他の意見	基本構想案が伊勢原らしくとてもよかったです。個別の案はまたアンケートをとり市民参加を引き続きお願い致します。	D	御意見として承ります。 引き続き、多様な市民参加を踏まえた計画づくりを進めていきます。
124	その他の意見	世界情勢が昨今緊迫していて、東京でもミサイルに備えて一時避難先を考えたりしていますので、もし可能でしたら病院の地下や耐震して駐車場の地下を使用させていただく等も考えていただければと思います。	D	御意見として承ります。
125	その他の意見	具体性に欠けるため、数字や具体策を使って、簡単に分かるような計画にして欲しい。	D	御意見として承ります。 なお、具体的な取組については、現在、実施計画を策定中です。
126	その他の意見	市長より初めて総合計画の策定経過を聞き、これからの市の進めていく上での施策を理解することができ、大変良い機会となりました。	B	引き続き、10年後を見据えた持続可能な市政運営の指針となる計画づくりを進めます。